

令和6年1月25日

保護者様

松戸市立栗ヶ沢中学校

PTA会長 森重 高那

令和5年度第四回運営委員会

日時:令和6年1月25日(木)11:00～

場所:栗ヶ沢中学校4階PTA会議室

1、校長先生あいさつ…岡本校長

新年明けましておめでとうございます。昨年は各委員会の活動にご尽力いただき、誠にありがとうございました。

さて、新年明けたその日に能登地震があり、心を痛まれた方も多かったと思います。未だに報道が続いていますが、その中で子ども達の様子、各学校の様子も報道され、他人ごとではないと感じています。大きな地震、気象災害、事故など本校でもいつ起きるかわかりません。日頃より学校の安全対策、構内の整備、更には本校が避難所になった時の対応等危機意識を持って職員にも周知、準備をしているところです。

話が変わりますが、3学期が始まり、早くも一月が経とうとしています。3年生は、私立入試が残りわずかとなり、来月に公立高校の入試を迎えるところです。入試の内容も大きく変わろうとしています。例えばウェブ出願やマークシートによる回答など戸惑う生徒もいるかと思えます。こちらも職員が対策を取っています。

1、2年生は「3年生を送る会」の準備が始まっているところです。

3学期は短い学期です。更には次年度の準備を進める季節です。生徒たちには、4月からの姿を思い浮かべながら心構えと準備をしてほしいと思います。私どもも、保護者アンケートの結果を参考にさせていただきながら、来年度の計画を立てているところです。

なお、来年度の学校規模ですが、新入生は138名、全校生徒数380名、学級数は1年生4クラス、2年生4クラス、3年生3クラス、特別支援学級2クラスの計13クラスでのスタートとなる予定です。

最後になりますが、皆様との連携を大切にしより良い栗ヶ沢中学校にしていきたいと思えますので今年もよろしくお願い致します。

2、教頭先生あいさつ…佐野教頭

改めましてこんにちは。本年もよろしくお願い致します。校長先生の方から1月1日の能登地震について触れられましたが、東日本大震災が起きた2011年3月11日、私は河原塚中学校の教諭で3学年の担任でした。卒業式を追えた午後、校庭へ野球部の指導に行く途中で大地震に見まわれました。校庭には野球部の子ども達がいる、校内には吹奏楽部の再登校した子ども達がいる、そんな中起きた地震でした。大きな揺れの中、体育館のガラスが波のように揺れている凄まじい光景でした。

私自身は理科の教員なので地震については少し学んでいたため、この後余震が来るだろうという事は(阪神淡路大震災の事もあり)直感がありました。生徒を校庭の中央に集め当時の教頭先生に確認をし、地域の安全を確かめた上で下校させました。下校の際中にも余震があり、果たして下校させたことが正しい判断だったのか後に考えさせられました。東日本大震災は未曾有の地震で、学校としてどのような対応が正しかったのか、危機管理については今なお検証が続いている、災害対応の大切さを教えてくれた地震だったと思います。

今回の能登地震については1月1日の事だったので学校で罹災した子は少ないと思いますが、いざ学校で起きた時に石川県、富山県の学校が東日本大震災を教訓にした行動ができたのかははかれませんが、私たちも含めて準備が足りないところはまだまだあるのかなと考えさせられています。

令和5年の9月に初めて東日本大震災の被災地に行きました。中途半端な気持ちで行ってはいけない場所だと思い、行けずにいました。本来であればボランティアや被災地に出向き自分の目で見て感じた事を子どもたちに伝えなくてはならない立場だと思っていたのですが長い時間が経過してしまいました。今ではここが本当に被災地なのかと思わせるくらい復興が進んでいました。

人間の力、復興の力、再起する力、悲しみに立ち向かう力はすごいものがあると実際に目で見て感じました。

いくつか震災の跡を残している建物に行きました。5か所回った内の3か所が学校でした。小学校、高校、小学校と回ってきました。最初の小学校は校舎が2階建てで2階の天井まで水に浸かってしまったけど全員生き延びました。校舎には屋根裏部屋がありその中に約90人が避難して難を逃れたそうです。垂直避難ただけで90人の命を助けたと美談では語っていますが、その時は「これでダメだったらみんな死ぬ」という思いで校長先生は判断したと話していました。

高校では校舎4階まで13メートルの津波が襲いましたが、更にその上に逃げのび犠牲者は出ませんでした。

最後は石巻にある大川小学校に行きました。そこでは78名中74名が死亡もしくは行方不明で学校で起こった戦後最大の大災害だったと聞きました。9月にそのようなところを見に行きこの能登地震が起きたので、再度この栗中に置き換えた時に今、本当に、この瞬間にこの地震が起きた時に子ども達を守れる行動ができるのかという事を改めて考えさせられました。

もう一度防災についてのマニュアル等を見直して、市教育委員会からも連絡があったように校舎内で避難や誘導に障害がないか見ているところです。

大川小学校の被災した場所を見た時に一番学んだのは、一番守るべきものは子どもの命、学ぶことも運動する事も命がなくてはできないと聞きその通りと感じ、職員にその思いを伝えています。生徒も教員も地域の方の命を守り、生き延びた学校は奇跡を起こしたと言われてはいますが、その奇跡を絶対的に起こさなくてはならないと、教員はそういう使命を持った職だと思っています。

栗中はPTA 備蓄品や市からの備蓄品など、仮に本当に罹災した時に数日間は何んとか難をしのげる準備がされています。そういった準備は今後も続けていきたいですし、更に充実したものになればと思います。

行事の報告

1月12日、本校の2年生が地域に出向き職場体験学習を行ってきました。地域の事業所33か所、幼稚園、保育園、自衛隊などです。ホームページに載せているのでぜひご覧ください。これまで数年間おこなっていませんでしたが、この職場体験が将来に結びつくような大事な行事となる、それぐらい感動を得て帰ってくる子もいます。2学年職員を中心に、苦労はかかりましたが夏前から準備をして保護者の皆様のご協力を頂き無事に終え、充実した活動ができたと思っております。次年度にも引き継ぎたい活動ですのでその時はご協力いただければと思います。

中学校の義務教育の集大成はやはり、進路の決定というところがありますのでこの後、全職員、3年生の生徒含めて1,2年生の進級を見守りながら頑張っていきたいと思っておりますのでご協力の方よろしく申し上げます。

3、会長あいさつ

能登の地震があり皆さんにとっても衝撃的だったと思います。能登の前にも私たちは経験をしているので、あの時の事を思い出しました。今、お話を聞いていて思ったのは子どもが幼稚園に行った時のことですが、ずっと一緒にいた子を不安な気持ちで送り出した時、担任の先生から「ちゃんとお預かりして、ちゃんとお帰しますから」と言ってくれました。普通の事ですがその一言ですごく安心したのを思い出しました。子どもは大きくなりましたが中学校もそういう気持ちで預かって下さっていると感じありがたいと思いました。

被災地になったことはありませんが何処でもなりうると思うので当事者意識を持ち、日常に感謝しながらもしにも備えながら過ごしていけたらと思います。PTAの備蓄品ですが、来年度どのようなものにするかも話し合っていこうと思います。

還付金の説明をします。こちらは以前配布した「PTAより大切なお知らせ」の説明になります。ご参照ください。

ビブスについて

今年度9丁目のお祭りと5丁目のお祭りにボランティアに参加しました。人がたくさんいる中で子ども達を見つけるのが

難しかったり、依頼された方もはじめましてなので栗中からきているのかわかりづらい状態でした。T シャツの案も出ましたがいつ配布するのか、また返却してもらわなければいけないのでビブスはどうかとなりました。ビブスですと当日配布し、その日のうちに回収できます。火が燃え移る等の心配もありますが、火を扱う仕事を任される子はいなかったのでビブスの案を取り入れました。

知り合いの方5つのデザインを提供してくださいました。教頭先生がアンケートをだしてくださいました。デザインはホームページにも掲載されています。集計結果はプラン2が24人で一番多かったです。プラン1、プラン3、プラン5、プラン4と続きます。この場でも挙手を取りたいと思います。また、お子さんの意見も集計に取り入れとほしい方はご連絡ください。

この場の挙手でもプラン2が一番多い結果となりました。おそらくプラン2のデザインになるかと思いますがお子さんのご意見などよろしくお願ひします。

4、選管報告

本日まで活動してきましたが、お話を聞いてくださったり、オファーを掛けてくださったりと皆さんにお力をお借りしました。この場を借りてお礼申し上げます。

現段階で会長1名、副会長2名、書記2名、会計1名、会計監査3名が決まりました。決まっていない所がありますが、もう少しの声掛けで決まると思います。

2月にお手紙を作成し、皆さんに改めて報告できればと思いますのでよろしくお願ひします。

5、会計より

最後のメが3月6日になります。精算したいものがあれば6日に渡しますので事前にレシートなど金額が分かるものの準備をお願いします。その時にレシートとお金を交換という形にします。

6、書記より

令和5年度の活動報告書を各学年、委員会に配布しました。次の運営委員会までに提出をお願いします。

7、3年生より

卒業記念品を印鑑からタンブラーに変更しました。11月中にはデザインを決めて業者に発注しました。

今年はPTAの入会届の事があり数が中々決まらず正式な発注ができませんでした。12月末に数量の決定をして正式に発注しました。あとは品物が届くのを待つ状態ですが、2月末までに届くよう希望を出しています。細かい日程は決まっていないので確認します。

また、卒業式の花をどうするか決めていこうと思います。

卒業式が3月16日の水曜日ですが前は印鑑だったので届いたものを学校で保管して頂けるとお約束していたのですが、今年はタンブラーなので少し大きくなってしまいます。ですのでどうするのか早急に確認します。

卒業記念品の請求書は会計さんに届くようにしていますがいつ頃届くのかも確認します。

8、連Pより

11月15日に常任評議委員会に出席してきました。

1月19日にマシガンズ滝沢と考えるゴミ問題という連P主催の講演会がありました。

海岸の掃除をすると海岸に打ち上げられているペットボトルは蓋がついているものばかりで、蓋が外れているものは海の底に沈んでいるのではないかと。

一人暮らしをするときには引っ越しする前にその地域のごみ集積所を見るとどんな人が住んでいるのかわかる。などのお話があり勉強になりました。

9、備蓄品について

今年配布された備蓄品は食べきったでしょうか。乾パンは小さい物から缶の大きい物になりましたが食べきれない方もいました。マリーなど美味しいのですが値段が高くなります。アルファ米もありますが美味しくありません。わかめが入っているものは食べられました。ふりかけ用意するのはどうか。

最近では無印良品からも非常食が出ています。羊羹や、チョコレートなどがあり美味しいそうですが値段が高いです。また3年間保管できるものがあります。備蓄品は回していくものなので1年保存くらいでいいかと思います。水も1年保存のものでいいと思います。500mlは災害時や夏は少ないのですが2Lは重いのでどうでしょうか。また、スープなどもどうでしょうか。

毎年備蓄品を返す事の利点は啓蒙活動の一環になるということです。ボリュームのあるものは災害時には助かりますが色々なものを試してみてもいいでしょうか。

他にいい案があれば今年度と同じようなものを発注しますので、検討をお願いします。

災害時はまず、厨房にある食材から使用します。備蓄品は2,3日目あたりから使用するようになります。

* 次回運営委員会 *

3月6日(水) 11:00～ 第五回運営委員会 於:4階 PTA 会議室